

## 新たな幼児教育支援事業の第6弾を、国立吉備青少年自然の家で開催！

【鈴木みゆき理事長がコーディネーター】

国立青少年教育振興機構本部では、各地の国立青少年自然の家と協働で、平成30年度から改訂（定）実施される幼稚園教育要領等について学ぶ実践的なシンポジウムを行っています。これは、改訂（定）にたずさわった文部科学省幼児教育調査官、厚生労働省保育指導専門官、内閣府教育保育専門官を講師に迎え、複数の行政分野に横串を入れ、わかりやすく、親しみやすい内容となるよう取り組んでいるものです。また、シンポジウムの後は、国立青少年施設を会場に開催する意義として、その施設ならではの指導者向け体験プログラムを実践いただくなど、有意義な時間となるよう進めています。

平成29年度第6弾として、平成30年1月12日（金）～13日（土）に、国立吉備青少年自然の家にて参加者73名が集まり、開催されました。

【以下、当日のシンポジウムの様子】

### 1日目

シンポジウムに先立って行われた地元幼稚園等からの事例発表の様子



### シンポジウムの様子



※2枚目に続く

## 2日目

体験活動の実際：段ボールハウス作り、ネイチャーゲーム



教育事業で行った事例を基に、段ボールハウス作り体験を行いました。作成後は、各園で活動する際にどのように取り入れられるかを考え、話し合いを行いました。



ネイチャーゲーム体験では、自然物の中から、カードの色と同じものを見つける活動を行いました。その後、「子供たちだったらどのような活動になるか」、「安全管理について」をテーマに意見交換を行いました。